

平成20年3月定例議会

平成20年3月6日

村長 所信表明

本日ここに平成20年朝日村議会3月定例会を招集いたしました所、議員の皆様方にはお揃いでご出席をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、今議会は、村長2年目の村政運営をスタートするに当り大変重要な議会となりますことから、冒頭この1年を振り返りながら2年目に向けての私の所信の一端を申し上げ、村民の皆様のご理解を賜りたいと存じます。

私は、昨年5月の就任以来「新しい感覚で朝日村をつくろう」をテーマに6項目からなる公約の実現に向け、また村政運営に携わる中で、急を要する重要課題を優先して取り組んでまいりました。

まず、村民の多くの方々が、朝日村は裕福な村と思っていた村の台所でありまず財政事情は、一昨年8月の新聞報道により一変してしまいました。そこで、私は何が原因か、朝日村として持続可能な村づくりは、何を優先すべきかを最重要課題とし、財政の立て直しのため、役場庁舎の建設を保留といたしました。この事は、昨年来の議会での議論により村民の関心度も高まり、村民の目が行政に注がれました。一方、職員による行財政改革プランが作成され、村民への周知と、村民の皆様からのパブリックコメントや各区から選出された行政改革推進委員会で議論をいただいております、平成21年度に向けて明るい見通しとなりました。

中でも、昨年12月議会で総額4億9,200万円の繰上げ償還の内、庁舎建設基金から2億3,500万円の借入れを行う事で、ご承認いただきましたが、職員の努力と創意工夫により、基金からの借入れを7,300万円減額し、庁舎建設基金からは1億6,200万円の借入れとすることができました。また、20年度には庁舎建設基金への借入れ返済も5,000万円の積み立てができる財政見通しでございます。

次に、我国は少子高齢社会による人口減少時代に突入し、当朝日村も同様な傾向になっておりますが、その中において、生活弱者への対応を重視し、また、村民の健康づくりや若者に魅力のある村づくりの一環としまして、中央公民館の使用料の無料化を初め、高齢者の施設使用料の無料化や、出産祝金10万円の支給、及び中学生までの医療費を無料といたしまして、例え財政は厳しくとも、生活に密着したメリハリのある取組みを行い、今後も継続してまいります所存でございます。

そこで、村民と行政が一体となり、安心して暮らせる村づくりを旨として、ま

ず議会制民主主義を尊重し、活発な議論を重ねてきている所でございます。また、私が各地区常会に出向いて、地域の皆様と話合う出前村政につきましても、33常会の中で30回を数え、膝を付き合わせた話合いと同時に、ホームページによる情報公開も行っている所でございます。

次に、活力ある村づくりに取り組む中で、農業立村としての当朝日村は昨年JA朝日支所取扱いの野菜生産販売高が5年ぶりに30億円台となり、農家の皆様に活気が戻り、明るさが表現されております。

この様な時、最近の中国製冷凍ギョーザ中毒事件や国内業者の製造標示の擬装問題など、食の安全安心が極めて重要視されておりまして、この機会に朝日産野菜のブランドが確立され、消費者に一層信頼がされる事を願うものでございます。

なお、村民の働く場所を含めた工場誘致につきましても、懸案でありました古見原工業団地へのカンロ（株）の誘致につきましても、最終の詰をしている所でございます。

次に、野生動物による農作物や住民の被害対策につきましても、昨年の春先に猪、猿の被害がありましたが、猟友会のご協力をいただき捕獲の檻や罠、電気柵の対応による取組みを行い、一定の効果が見られました。

なお、新年度につきましても、国が鳥獣被害防止特別措置法を制定しましたので、具体的な対応に期待をし、その施策に取り組むと共に、昨年効果がありました電気柵につきましても、貸出台数を充実してまいり所存でございます。

また、急を要する事業として、村民生活に密着しているAYTの放送機器の更新時期が過ぎている状況に鑑みまして、有線型から無線型での同報無線による整備を進めている所でございます。

1年目はまさに緊急性のあるものを最優先し、できる限り公約の実現を図るための施策に取り組んでまいりました。まだまだ不十分な所もありますが、私としては、この1年何とか一定の成果をあげられたのではないかと考えております。

この様に、1年目の村政運営を振り返る時、ここまでやってこれましたのも、ひとえに村民の皆様を始め議員の皆様のご支援、ご協力があればこそでございます。改めまして、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

それでは、2年目の村政運営のスタートに当り、基本方針並びに具体的な施策等について、公約と予算を踏まえて申し上げます。

まず、私の公約であります「新しい感覚で朝日村をつくろう」をテーマに、職員が取り組みました行財政改革プランを基に、村民が安心して暮らせる福祉の充実した村づくりを目ざして、事務事業の推進を図るものでございます。

まず第1は、朝日村が朝日村として今後も続くために、最重要課題としております財政の健全化への取組みを推進するものでございまして、歳入での借金でございまず起債を増やさずに、一般会計予算を7年ぶりにプラス予算編成とし、総

額23億9670万円となりました。

しかも、歳出につきましては、義務的経費の人件費は前年当初比5000万円の減、繰上償還による公債費は前年当初比1億円の減となりまして、義務的経費は前年当初に比べ1億2,800万円、5.5%が減額となり、投資的経費の建設事業費が前年度の倍額となるなど、硬直化していた財政構造を大幅に改善することができました。

次に、第4次総合計画が20年度で終了する事に伴いまして、行政を進める上で基本となる計画、目標、理念等、長期的な基本構想を定める第5次総合計画の策定に向け、住民参加により取組みを進めてまいります。

次に、昨年度から進めておりますA Y Tの放送機器類の更新につきましては、本年度同報無線工事に、事業費3億円を投入して整備する事により、災害時対策を含めた対応もできる事となります。また、従来の有線による電話付きFAXにつきましては、N T T回線による検討をしてまいります。

なお、有線テレビ事業につきましても、現在のアナログ放送からデジタル放送への移行が迫っております事から、民間委託を視野に研究検討をしてまいりたいと考えております。

次に、災害に備えた対応につきましては、平成13年に朝日村地域防災計画が作成されておりますが、国、県の防災計画の見直しを受け、地震対策編中心のものから、風水害対策編を中心とした編体系となっておりまして、関係機関の助言をいただき今回見直しを行いました。

特に対策本部につきましては、役場からA Y Tへ設置する事とし、同報無線整備と整合した対応をするものでございます。

その他主な事では、土砂災害に関する情報について今朝日村は、平成17年に県から土砂災害警戒区域が調査指定された事に伴いまして、警戒区域を設定しました。今後は防災訓練等により、関係機関の指導を受け、順次周知訓練に努めてまいります。

また、村民の生命財産を守るために、住宅等建築物の耐震改修促進事業を引き続き推進し、公共物では第2分団詰所の耐震化工事及び消防車両の更新等、計画的に進めてまいります。

次に、活力ある村の産業振興につきましては、先程も申し上げておりますが、農業立村として、食の安全・安心は、信頼できる国内産を消費者に一層理解していただき、我国の自給率向上に、生産者や消費者及び流通機構との一体化、信頼化が図られる取組みが求められております。

そこで、本年度におきましては制度的な補助も含め、農業関係に約6,500万円の支出をし基盤の安定化、価格の安定対策等に対応してまいります。特に平成5年に着工しました朝日地区県営畑地帯総合整備事業(担い手育成事業)は、

総工事費 34 億円を投入し、揚水ポンプ工事や管路工事等々畑地かんがい施設の老朽化に伴う更新事業と、農道及び排水路の整備がされ、本年度 20 年度で事業が完了する事となりました。

また、商工業の振興につきましては、業界は多種多様な状況の中で既存企業の振興対策に約 1 千万円の支出を図り、誘致企業には、本年度約 2,400 万円の減免をするものでございます。

なお、自然と農業との調和を図った工場誘致により、村民の働く場所の確保も含め、積極的に進めてまいり所存でございます。具体的には、古見原工業団地への誘致後につきましては、国土利用計画を踏まえ、農業振興地域整備計画を作成し、農地の利用計画に新たな工業用地を設定してまいりたいと考えております。

さて、平成 4 年にオープンし 16 年目を迎えましたあさひプライムスキー場についてでございます。昨年来から村民の皆様や議会の皆様からご理解いただくため、機会ある毎にご説明申し上げてきましたが、今や国内のスキー場運営は、大きな転換期を迎えております。この様な厳しい環境ではありますが、私は小さな村の小さなスキー場として、その特徴を生かした取り組みにより、村民のためにスキー場の存続を図ってまいりたいと考えております。

そこで、本年 4 月から指定管理者によりスキー場運営のプロでございます檜山スノーテック㈱に運営を委託するものでございます。

こうした社会情勢の中、誰もが安心して生き、終生健やかに過す事ができる村づくりを進めるため、ハード面では、福祉施設の整備を、またソフト面では、心穏やかにゆとりを持って子供を産み育てるための支援、更には障害を持つ人々が安心して暮らせるための支援を進めることとしております。

具体的に、ハード面では老人福祉センターの利便性を考慮した一部改修、及び保育園、小学校のトイレ改修を行い、子供等の快適な衛生環境にするものでございます。

また、ソフト面では、安心して子育てができますよう妊婦の健康、食生活相談から出産祝金、そして乳幼児福祉医療や各種テーマ毎の教室、及び健診等 15 事業に亘る取り組みをしておりまして、保育園入園前の乳幼児対策として、1,800 万円程度を投入した事業推進を図るものでございます。

なお、旧本郷地区集会所でスタートしました障害者等共同作業訓練施設「森のこびと」が、4 月から下古見地籍に移転し、開所することとなりました。

また、本年度新たに障害児の放課後、及び長期休暇中の活動を支援するための施設を整え、障害児日中一時支援事業を進めてまいります。

私達が、日々生活していく上で一番大切なものは、まず自分自身の健康であります。自らの健康は自らが守ることは、極めて大事なことでございます。そこで、村民の皆様の健康を守る一助として、高齢者の健康づくり体制の強化や乳幼児・

小児医療の充実、更には、生産年齢人口といわれております成人者の健康予防体制の充実を図る必要があると考えております。そのための施策として、現在、健康づくり計画に基づいた推進がされておりますが、村民の目線から見ましたとき、村民にどれだけ理解をされ、自分から率先して行動に移されているのか、受診率ひとつを取りましても行政の対応に課題が見られます。

また、本年度4月から新しく始まります75歳以上の方の後期高齢者医療制度や、74歳以下40歳までの方の新しい健診制度、特定健診が始まりますが、特定健診受診率が、定められた目標より低い場合には、国保会計へのペナルティーがあり、国保の持ち出しが多くなると言われておりまして、村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

なお、当朝日村は、昭和39年に逸早く健康村建設活動を推進し、昭和50年からは国保1人当り医療費が県下で最低となりまして、昭和53年には厚生大臣表彰をいただいております。平成18年度では、県内81市町村のうち1人当たりの医療費は低い方から8番目となっております。

いずれにいたしましても、健康村づくりに取組まれた先人の方々の熱い思いに感謝し、健康村活動の推進は朝日村の重要課題として取組んでまいり所存でございます。

次に、下水道につきましては、平成8年に県内では最も早く全村共用開始となり、快適な生活環境となっております。そこで、下水道行政を推進する上で効率の良い管理運営をしていく事が課題となっております。当朝日村には、農業集落排水事業での処理施設が3箇所、特定環境保全公共下水道事業での処理施設が1箇所で、それぞれ下水処理を行っております。これら4施設での運転管理、維持経費を効率化するために、職員による行財政改革プランの中でも早期改善事項となっております。新年度に県から職員を派遣していただき、研究検討をしてまいります。

次に教育行政についてでございます。我国は少子高齢社会が進み、人口減少時代となり、しかも青少年を取り巻く社会環境は様々な意味で極めて厳しいものがあります。この事は単に学校教育だけの問題ではなく、近来、特に指摘をされております家庭教育のあり方に課題が多く、子供を取り巻く社会教育の対応も重要でございます。

この様な状況を直視するとき、近い将来朝日村を担う子供達に我々が何をなすべきかを、共通の認識として取り組まなければならないと思っております。

その為には、学ぶことの大切さを理解させる教育環境の整備や、子供等が安心して野外で遊ぶことができる環境づくり等、感性豊かな青少年育成支援を行ってまいらなければならないと考えております。

そういった意味では、当朝日村は従来から環境整備に力を注いでおりまして、

これからはソフト面で民の活力に期待を致しております。

なお、児童の放課後の居場所が課題とされていますが、現在の放課後児童クラブにつきまして、児童館等も念頭に検討してまいり所存でございます。

また、通学路の安全確保のための対策にも取り組んでまいりたいと考えております。

ここで明るい話題として報告しますが、この1月24日で交通死亡事故ゼロ1,000日を迎え、昨日、長野県交通安全推進本部長であります村井知事より表彰状を頂きました。これを機会に交通安全協会の皆さんからもご協力いただき、交通安全の一層の啓蒙を図っていきたいと思います。

これら幾多のご説明を申し上げましたが、いずれにいたしましても、行政を遂行するためには、何より大事な事は職員の前向きな対応が必要でございます。リーダーの意を体し、法律、法令、条令等に基づき、村民のために手足となって、公平で公正に務めることに期待しております。

このような観点から、新年度は一部事務の効率化を図った組織体制としてまいり所存でございます。

以上、所信の一端を申し上げましたが、村民の皆様、議員の皆様にご理解をいただき、共に村づくりのためご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。